

# こんにちは せいてつ 病院です

地域医療支援病院 日本医療機能評価認定病院  
社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp

せいてつびょういん

## 平成24年度 公衆衛生事業 功労者福岡県知事表彰

1月30日福岡市で開催されました「食と健康推進フォーラム(第60回福岡県公衆衛生大会・平成24年度福岡県食生活改善大会)」において、石束 隆男病院長が公衆衛生事業功労者として福岡県知事表彰を受賞しました。



## 春の医師人事異動

退職	腎センター部長	鶴田 宏	腎臓内科	中村 奈央	[研修医]	2年次	芝原 友也
	整形外科主任医長	里村 匡敏	呼吸器内科	花香 哲也		2年次	瀧口 知浩
	心療内科医長	松原 慎	脳血管内科	松木 孝之		2年次	谷口 文音
	皮膚科医長	豊田 美都	脳血管内科	賣豆紀智美		2年次	八尋健一郎
	肝臓内科	山崎 晃裕	泌尿器科	安達 拓未		1年次	桑野 幸
	消化器内科	森下 寿文	泌尿器科	門司 恵介		1年次	野田 裕剛
消化器内科	平田 敬	放射線科	桑原 千恵	1年次	福元 遼		
糖尿病内科	宮川 智愛	麻酔科	緒方 裕一	1年次			
採用	消化器内科医長	浦岡 尚平	脳血管内科	大崎 正登	[研修医]	1年次	青柳いくみ
	心療内科医長	乙成 淳	脳血管内科	熊本 将也		1年次	内田 泰輔
	皮膚科医長	安川 晋輔	泌尿器科	秋武 正和		1年次	四宮 綾子
	緩和ケア外科医長	高浪 英樹	放射線科	上田 一生		1年次	中武 裕
	肝臓内科	黒川 美穂	救急・集中治療部	松本 泰幸		1年次	林 康之
	消化器内科	清森 亮祐				1年次	吉留 彩
	循環器内科	瀧口 知浩				1年次	江藤 綾桂
	糖尿病内科	野口 裕貴				1年次	佐久間 努
	腎臓内科	岸本 啓志				1年次	中尾 晶子
	腎臓内科	酒見めぐみ				1年次	東 加奈子
呼吸器内科	内藤 圭祐			1年次			



新任医師のプロフィールは次号(7月)に掲載いたします。

## 診療科目

内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科
呼吸器外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科	形成外科
産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科
病理診断科	放射線科	麻酔科			

## 専門外来

内科	神経内科/血液外来/甲状腺外来/ 膠原病外来/ペースメーカー外来/ 腹膜透析外来/禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来(睡眠時無呼吸症候群)	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング/自律訓練外来	小児科	小児循環器/小児神経/ 小児腎臓/小児肥満/	放射線科	放射線治療外来
		外科	ペインクリニック	緩和ケア	緩和ケア外来
				女性診療外来	乳腺外来

休診日:日曜、祝日、第2・4土曜日

■ 予約センター: **093-671-5489**

■ 夜間休日急患受付: **093-672-3111**

### 全科予約制

予約受付時間 8:00~16:00  
当日予約は10:30まで



### 理念

#### 安心・安全

患者さんの安心・安全  
職員の安心・安全  
病院の安心・安全

### 基本方針

患者さんの人権を尊重し  
インフォームド・コンセントを大切に  
安心して任せられる医療とサービスを提供します  
地域との連携を大切に かかりつけ医との協力のもと  
24時間信頼される診療体制を充実させます  
最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め  
チーム医療の推進を図ります

### 編集後記

2月より編集部会メンバーとなりました。入社2年目で医療や病院、病気のことなどわからないことが多いのですが、読者の目線から、分かりやすく親しみやすい広報誌づくりに携わっていきたくと思っています。  
企画経理課 伊藤 晴貴

こんにちは  
せいてつ  
病院です

発行日  
2013年4月1日

発行部数  
4,500部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1  
TEL 093-672-3176  
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp  
編集・発行責任者: 病院長 石束 隆男

● 広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp  
● 地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷: よしみ工業株式会社 表紙イラスト: かわぐち たまよ

## 特集

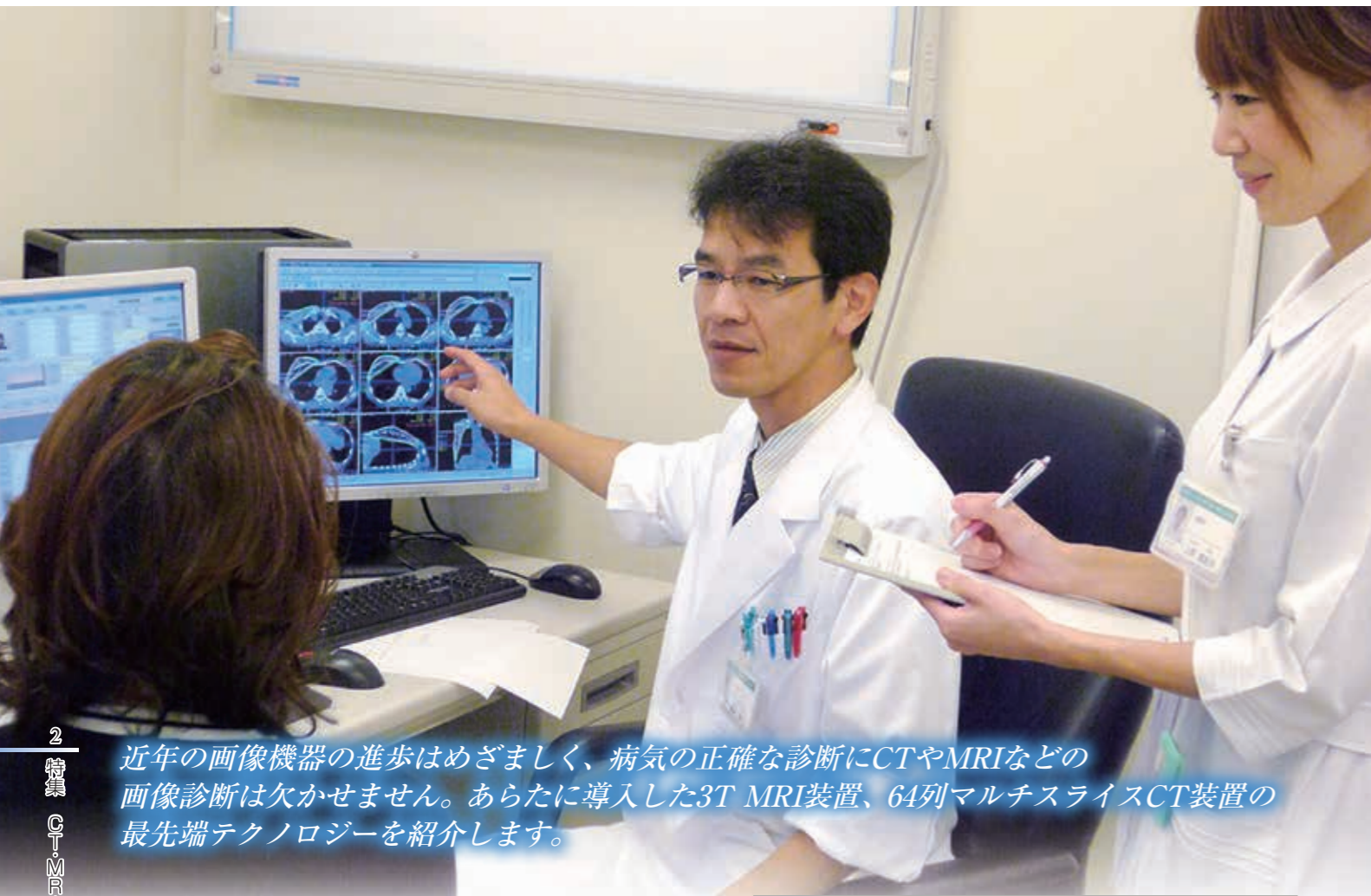
# CT・MRI 最先端テクノロジー

## FOCUS INTERVIEW フォーカスインタビュー

副院長・がん診療センター長  
**東 秀史**

- こんにちは探検隊  
沖重医院
- 診療科のご紹介  
形成外科
- こんにちは体験ルポ  
摂食・嚥下障害看護認定看護師
- 医療をささえる看護のちから  
22病棟
- なるほど! なっ得! 薬の話  
TDM Therapeutic Drug Monitoring  
薬物血中濃度モニタリング





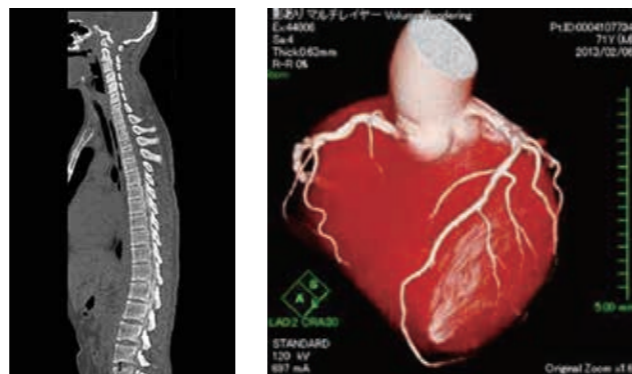
近年の画像機器の進歩はめざましく、病気の正確な診断にCTやMRIなどの画像診断は欠かせません。あらたに導入した3T MRI装置、64列マルチスライスCT装置の最先端テクノロジーを紹介します。

## 多列化するCT

CTはX線を使用し、体の断面像を撮影する検査です。人体を透過したX線を検出器で測定し、画像化しています。初期のCTではこの検出器が1列しかありませんでしたが、最近ではこの検出器の数も増加し、現在では64列CTが主流となっています。

1月より更新した64列CTは、従来のCT装置と比べて撮影スピードが非常に速く、広範囲を短時間で高精度の撮影が可能となり、また撮影時間が大幅に短縮されることで息止めなど検査時の身体的な負担を軽減することができます。

また、身体を非常に小さな間隔(0.5mmなど)で撮影するため、一回の撮影で輪切り画像だけでなく、断面の画像(図1)を作成でき、立体的な3D画像化も容易にできます。造影剤を使用すれば、心臓の冠動脈(図2)を含めた全身の血管も簡単に検査することが可能です。



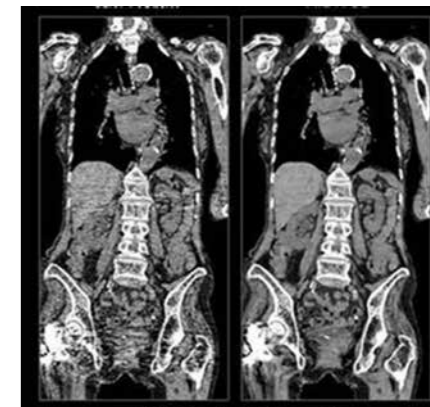
(図1) 断面の画像

(図2) 冠動脈の3D画像

## 被ばく低減

CTはX線を使用するため、つねに被ばくが問題となります。近年のCTでは画像処理法の進化(図3 逐次近似再構成法)により、従来よりも低い線量で検査が可能となっています。当院であらたに更新されたCT装置でも、実際2割程度の被ばく量の低減が可能です。

(図3) 逐次近似再構成法による画像処理



処理前

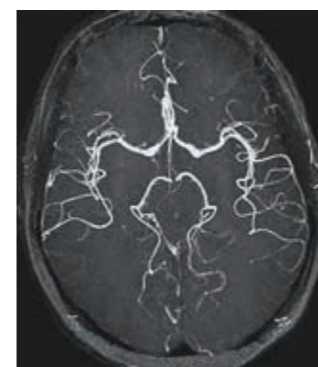
処理後

## 3T MRI

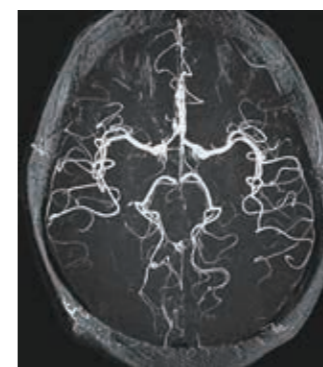
MRI検査は強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気と電磁波、それに水素原子の動きを利用して、体の断面を撮影する検査です。X線を使用しないため、CTと異なり放射線による被ばくはありません。

また、昨年12月より導入した3T MRI装置は開口部(中央のトンネル)の直径は70cmあり、従来の装置より10cmほど大きくなっており、圧迫感を軽減できるようになっています。

「T」とは、磁力の強さを表す単位でテスラといいます。現在、国内の臨床で使用されているMRIは0.2~3.0テスラまでであり、その数値が大きいほど、より鮮明な画像を描出することができます。また撮像時間も短縮が可能で、検査の身体的な負担も軽減できます。



(図4) 1.5T MRI



(図5) 3T MRI

3T MRI装置では、従来の1.5T装置に比べより多くの情報(信号)が得られることから、高精細な画像を得ることが可能です。そのため今までの装置では発見できなかったような小さな病巣や、小さな脳動脈瘤などの早期発見が期待できるようになります。

図4, 5は脳血管の検査ですが、3T MRIの方がより細い血管まで明瞭に描出されているのがわかります。

## おわりに

製鉄記念八幡病院放射線科では、患者さんにやさしく安全に、患者さんが安心できる検査をめざして日々業務を行っています。これらの最先端の医療機器を駆使して、さらなる画像検査の質の向上と、地域医療の発展に貢献していきたいと思っております。



放射線科部長  
鎌田 宏二

日本医学放射線学会専門医

# 沖重医院

沖重医院は昭和26年に八幡出身のお父様がこの地に開業し、平成9年に沖重千秋先生が院長を引き継ぎ、今に至っております。

患者さんの気持ちに寄り添った診療を行い、地域医療に貢献されている院長先生にお話を伺いました。



院長 沖重 千秋 先生

**Q：先生のモットーをお聞かせください**

**A：**患者さんとの対話を大事にし、患者さんが安心して受診され納得していただけるような医療を行い、アットホームな雰囲気の病院づくりをめざしております。また、かかりつけ医として気軽に何でも相談していただけるよう、地域医療に少しでもお役に立てればと思っております。

**Q：貴院の特色を教えてください**

**A：**内科が中心ですが、若い頃は外科・麻酔科(ペインクリニック)を勉強しましたので、軽い鎮痛処置の治療もしています。スタッフは、看護師4名、受付2名で診療にあたっています。患者さんとのコミュニケーションを大切に、笑顔と真心を持って接し、患者さんの気持ちが少しでも和むよう常に心がけています。



尊敬する長嶋茂雄さんのポर्टレート



**今回の探検隊**

看護部 矢成 優佳  
リハビリテーション部 松永 裕也

**沖重医院**

八幡東区山王1丁目17-13  
TEL 093-671-5875

**診療時間**

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
13:30~18:00	○	○	○	○	○	○	△

沖重先生やスタッフの方に優しく迎えていただき、リラックスした気持ちで取材を行うことができました。また、院長先生はとても気さくな方で、多くの質問に答えていただきました。患者さんに寄り添った診療を提供していることがとても伝わってくる取材でした。

## 診療科のご紹介

### 形成外科



形成外科部長 高原 寛

形成外科とは「先天性および後天性にできた体の表面の形や色の変化に対し、おもに外科手術により形態的に正常に、より美しくする科であり、個人を社会に適応させることを目的」にしています。

生まれつき、または事故や病気・ケガなどの原因で、身体の一部が普通の人と比べて形態や色が異なり、見た目や機能の問題があつて悩んでおられる方々の不安を解消し、生活の質“Quality of Life”の向上に貢献しています。

**診療対象**

外 傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽症のやけどから全身熱傷</li> <li>手指の切断・骨折、皮膚欠損など</li> <li>鼻骨骨折・上下顎骨骨折、眼窩骨折、頬骨骨折など、あるいはそれらの変形治癒骨折</li> </ul>
はんこん 瘰癧(傷あと)・ケロイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記の外傷や手術後にできた目立つ傷あとやひきつれ、ケロイド</li> </ul>
先天奇形	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうしんれつ こうがいれつ 口唇裂、口蓋裂、あるいは手術後の口唇や鼻の形で悩んでいる方</li> <li>手足の奇形</li> <li>がんけん かすい 眼瞼下垂、小耳症、埋没耳をはじめとする耳介の変形、副耳耳瘻孔、陥没乳頭、でべそなどの臍の変形など</li> </ul>
腫 瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>良性腫瘍・母斑(ほくろ・あざ)・血管腫</li> <li>悪性腫瘍およびそれに関連する再建(乳がん摘出後の乳房再建など)</li> </ul>
じょくそう 褥瘡・難治性潰瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>床ずれ、治りにくい皮膚潰瘍</li> </ul>



そのほかにも、巻き爪などの爪の変形、腋臭症(わきが)などの診療も行っています。お気軽にご相談ください。



**●診療担当表**

	月	火	水	木	金	土
午後	●	●	●	●	●	●

形成外科 TEL 093-671-9320



M.D.Higashi Hidefumi

Profile

1959.9.28生れ  
1984 九州大学医学部卒  
1988-1989 米国ピッツバーグ大学留学  
2006 新日鐵八幡記念病院 外科部長  
2008 同院 副院長・がん診療センター長

〈専門〉消化器、肝臓  
日本外科学会認定医・専門医・指導医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器外科学会指導医  
日本消化器外科学会消化器がん治療認定医  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
日本消化器病学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



Q. 医師をめざしたきっかけは？

きっかけは父でした。我家は代々、熊本の阿蘇の地で診療所を開業しており、父も外科医でした。物心が付いたときから父の医師としての姿を見て育ち、何となく漠然と「将来は医師になる」と決めた…というよりは医師以外の職業が想像できなかったと言う方が正しいかもしれません。今では外科医になったことを誇りとして、診療においては常に謙虚で誠実であることを心がけています。

Q. 座右の銘をお聞かせください

「今成すべきことに最善を尽くす」です。過去の失敗や過ぎたことを後悔しても仕方がない、また将来に不安や心配なことがあっても今できることをするしかない、最善を尽くせば必ずと道は開ける、といった意味でしょうか。時々自分に言い聞かせています。

Q. 医師になって感動したエピソードは？

卒業して9年目の頃でした。一時、外科医を離れ総合診療医として、脳死の患者さんを診ていた時期がありました。その頃は、脳死や移植医療の法的整備が成される前でしたので、診療を続けながら、その患者さんのご家族に脳死や移植医療の

こととお話ししました。自分なりに誠意を持ってご家族に接し、ご家族も真摯に移植医療のことを考えてくださったのですが、当時の社会的状況から臓器提供には至りませんでした。ただ、最後にご家族から「手を尽くしてくれたことを感謝しています」という言葉を聞いた時、ご家族の前で号泣したのを覚えています。本当につらい状況であるにもかかわらず、移植医療のことを真剣に考えていただいたご家族のことは、これからも決して忘れないと思います。

副院長・がん診療  
センター長  
**東秀史**

ひがし ひでふみ

摂食・嚥下障害看護認定看護師

摂食・嚥下障害看護認定看護師とは、おもに食事することを援助するエキスパートです。脳梗塞など病気によっては、飲み込むこと(嚥下)がうまくできない場合があります。さらに、高齢になるにつれ、嚥下機能は衰えていきます。このような患者さんの食事形態を考慮したり、経口摂取できない方への口腔内のケアを専門的に行うのが、摂食・嚥下障害看護認定看護師です。今回は、福岡県内に8人しかいない(2013. 3月現在)認定看護師に密着します。



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
(左より) 櫻木 ゆり、小森 香菜子



嚥下評価結果を話し合い、患者さんの個性に応じた食事形態などを考えていきます。



嚥下評価を行っているところ



食事介助を行っているところ



管理栄養士と言語聴覚士とともに、院内食事形態について話し合い、より食べやすい食事の提供ができるよう、日々思考を重ねています。



集中ケア認定看護師 林主任と研修医や看護学生に勉強会を開催しています。



1年次研修医の勉強会

今回の体験隊

看護部  
寺島聖子  
看護部  
高木 久美子



# 22病棟

チームワークと連携を強化し、  
安心・安全の満足をもって  
受けられる環境での治療・看護を提供します



22病棟は、「血管病センター」として2012(平成24)年8月より開設されました。血管外科専門の急性期病棟です。スタッフは、血管病センター長 三井 信介医師・田中 潔医師の2名と、行實朱美師長をはじめ看護師16名、看護補助者2名、クラーク1名で業務しています。

血管外科病棟には、身体的な症状を抱えている方や、今後の生活について不安を抱えた患者さんが入院しています。とくに下肢の皮膚トラブルに対しては、創を早期に回復させる、他に創をつくらない予防がとても重要になりますので、皮膚が清潔で回復しやすい環境を保てるよう、医師や皮膚創傷認定看護師

とともにケア方法を考え、足浴や保湿ケアといったフットケアに取り組んでいます。

また、創が治ったとしても、入院生活により筋力が低下し、日常生活に不安がある場合もあります。退院後の生活支援もつねに考え、患者さんやご家族の方と話し合い、ソーシャルワーカーと連携を図り対応を行っています。

わたしたちは、患者さんや家族の方との関わりを大切に、症状や不安を早期に緩和できるよう、笑顔あふれるコミュニケーションを心がけています。

「この病院に入院してよかった」と言ってもらえる病棟づくりをめざし、明るく元気にチーム一丸となって頑張ります。



血管外科の患者さんは、下肢の血管だけでなく他の血管にも問題が併発していることが多いため、チーム医療として、循環器内科・脳血管内科・糖尿病内科・放射線科などの医師、リハビリテーション・検査部・ソーシャルワーカー・皮膚・排泄ケア認定看護師などが参加したカンファレンスを毎週開催しています。安心・安全を最優先した看護ケアと、患者さんや家族の意向を大切に、専門分野を活かしたチームで最善の医療が提供できるように取り組んでいます。

「血管病センター」という病棟名は、あらゆる専門的視点から、血管を治療するという観点でつけられました。



## なっ得! なるほど! 薬の話

## TDM Therapeutic Drug Monitoring 薬物血中濃度モニタリング

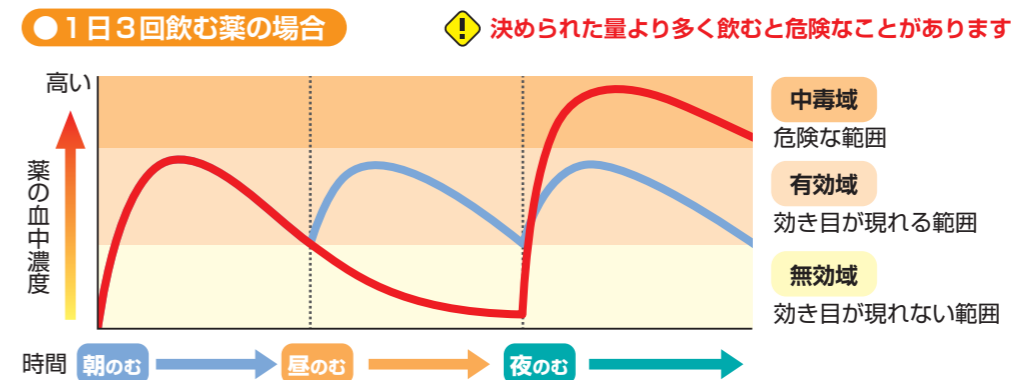
お酒を飲むとすぐに顔が赤くなる人もいれば、何杯飲んでも全く変わらない人もいます。  
「飲んだ量」と「酔い方」は正比例しないことがわかります。  
なぜでしょうか?



実は、お酒は「飲んだ量」は同じでも、一人ひとりの血液中のアルコール濃度に差があるからです。お酒に強い人は一般的には血液中のアルコール濃度は低く、お酒に弱い人は高くなっています。お酒の酔い方に個人差があるように、薬の効き方にも個人差があります。実は同じ量の薬を服用しても、血液中の薬物の濃度に差があるからです。

薬の効果は、服用した薬の量(服用量)ではなく、血液中の薬物の量(血中濃度)で決まります。薬はある一定の濃度以下だと効果が現れず(無効域)、逆にある一定の濃度以上になると効果が現れ(有効域)、さらにあるポイント以上になると副作用が出やすくなったり、毒性が現れたり(中毒域)します。

このように血中濃度を測定し、投与中の血中濃度が有効域に維持されるよう、患者さん個々の投与量を決定していく方法をTDM(Therapeutic Drug Monitoring)といいます。



### TDMの条件

- 1 薬の有効域が狭く、中毒域がそばにあること
- 2 薬の効果の強さや副作用の発現が血中濃度と関連性があること
- 3 薬の濃度を測定する方法が決まっていて、分析する機器があること

しかしながら、すべての薬に対してTDMが行われているわけではありません。左のような条件が満たされている薬で行われています。

製鉄記念八幡病院では今後もTDMにより、患者さん一人ひとりに適した投与量、投与方法を決定し、それによって副作用の心配がなく、かつ薬の効果が最大に発揮されるような治療を提供したいと考えています。

## 緩和ケア研修会を開催しました

製鉄記念八幡病院では、より地域に密着した緩和ケア治療の普及をめざし1月26日・27日の2日間、第2回目の緩和ケア研修会を開催しました。緩和ケア研修会とは、正式には「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」となっており、症状緩和治療の講義や、患者さんとの良好な関係を築くための接し方、精神的な側面からの気づき、スムーズな病診連携のあり方などを学び、県知事より終了証書が渡されます。

第1回目につき、今村秀緩和ケア外科部長を中心に当院スタッフと外部講師により、11名の受講者が熱心に勉強されました。当院からも、梶原英二内科系副院長をはじめ6名の医師が参加しました。がんの患者さんが不要な苦しみに苛まれることなく、安心して過ごせるよう努めてまいります。



## あなたのご意見より

☑ テレビカードの料金が高いため、他の患者とも話して意見を書いた。1日1,000円は高すぎる。

Ⓐ 平成24年5月より、これまでの20時間視聴1,000円から、料金は同額で30時間視聴に延長しました。市内の同規模クラスの病院のうち、4施設において1,000円20-22時間となっています。当院の料金につきましては、必要経費のみとなっておりますことを、ご理解いただきますようお願いいたします。

☑ 意見を書いた次の日から意見箱が見当たらない。

Ⓐ ご意見箱は、各病棟デールームと外来2ヶ所に常時設置しています。みなさまから寄せられた貴重なご意見は、関係部署へ通知するとともに、院内全体での情報共有をはかり、接遇・業務改善に役立てています。



平成24年10月現在 1,422人分  
ご協力ありがとうございます

9月 高槻市民センターさま  
高槻市民センター利用者のみなさん  
11月 持田製薬(福岡支店北九州事業所)さま

## 臨床検査技師の やさしいゼミ 検査の略語

検査結果をもらっても、略語が多く、何のことか分からないといったことはありませんか？  
そこで普段よく行われる検査について、略語の意味をやさしく解説します。



	AST	ALT	γ-GTP
正式名称	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	アラニンアミノトランスフェラーゼ	γ-グルタミルトランスペプチダーゼ
院内基準値	13~33 IU/L	男性 8~42 IU/L 女性 6~27 IU/L	10~60 IU/L
説明	AST, ALTは共に細胞内で働いているアミノ酸を作り出す酵素です。臓器が障害を受け、細胞などの破壊によって血液中に流失するこのような酵素を、逸脱酵素と呼びます。 ASTは肝細胞・赤血球・心筋・骨格筋に多く存在し、ALTは特に肝細胞に多く含まれているので、これらの組織が障害を受けると血液中の値が上昇します。 肝臓の機能と、肝組織の障害の程度を判断する検査です。		γ-GTPは、肝臓や胆管の細胞が壊れたときに血液中に流れ出すため、肝臓や胆管の細胞がどれくらい壊れたかを示す一つの指標になります。 飲酒により上がります。
検査結果から分かること	高値 心筋梗塞、肝臓病、筋疾患、溶血性貧血	肝障害	閉塞性黄疸、アルコール性肝障害、急性肝炎、肝がん、肝管がん



## 限度額認定申請



### 70歳未満の方

限度額認定証の申請を事前に行っていただき、入院当日、入退院受付へご提出ください。

●事前の申請をすることにより、入院費の支払額が限度額までとなります

限度額認定証は**入院当月内にご提出**ください。  
手続きが遅れると、病院で全額お支払いいただき、後日、各種健康保険窓口で申請後に還付となります。

### 70歳以上の方

70~74歳の方は「高齢者受給者証」を、75歳以上の方は「後期高齢者医療被保険者証」を提示すると、入院の際の窓口での支払いが自己負担限度額までになります。  
市民税非課税世帯の方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証(区分Ⅰ・区分Ⅱ)」を提示すると、支払いがさらに軽減されます。

■お問い合わせ  
入院会計 TEL 093-671-9550

医事課職員が病室に訪問いたします。お気軽にご相談ください。

